

令和2年度学校評価シート 3年間比較(自己評価<教職員>)

兵庫県立夢野台高等学校 2021.1.22

次の各実践目標(具体的な実施内容)について、ABCDの評価を記入して下さい。

(A(4):よくできた B(3):ややできた C(2):あまりできなかった D(1):全くできなかった)

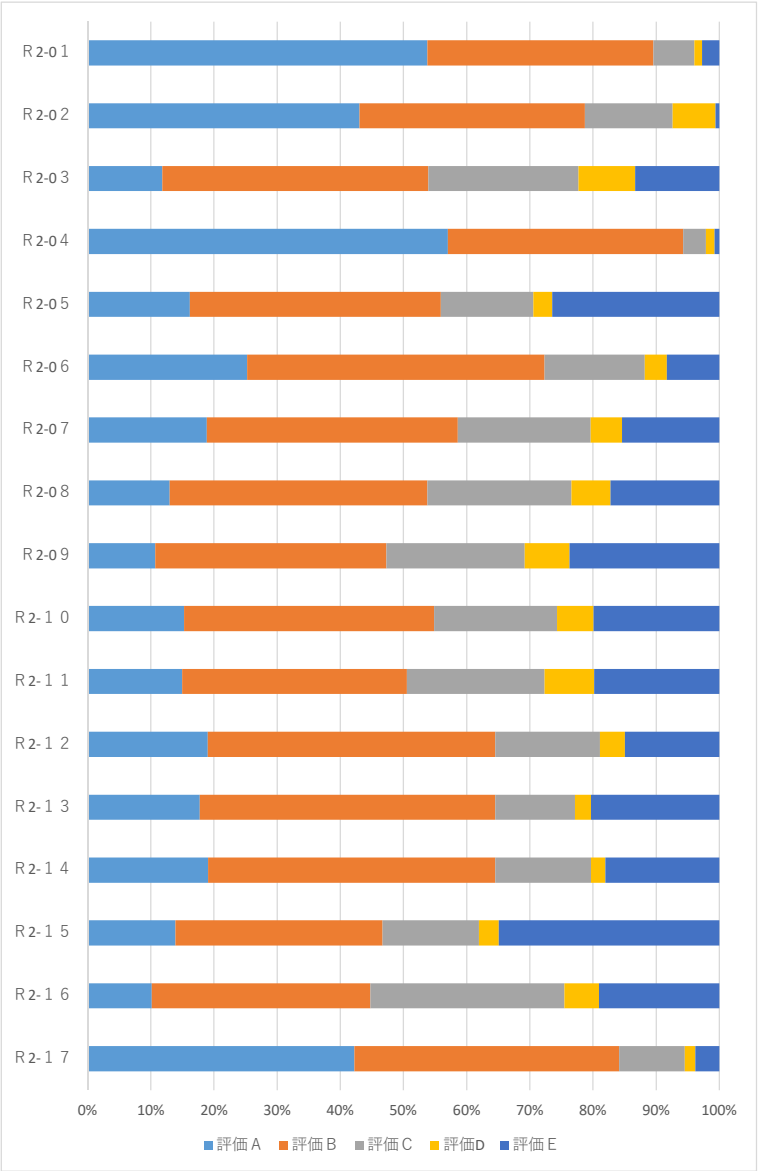
領域	評価の観点	No	評価項目(重点目標)	実践目標(具体的な実施内容)	R2	R1	H30
学 校 運 営	開かれた学校づくり	1	家庭や地域への情報発信	①ホームページを活用し、本校の教育方針、重点目標、行事や部活動の様子等をタイムリーに保護者や地域に発信する。	3.2	3.3	3.3
				②自然災害や不測の事態等、緊急事態に対応できる情報発信手段を充実させる。	3.1	2.9	2.8
		2	地域や関係機関と連携した学校づくり	学校説明会等を通じて、教科「教職」や、総合的な学習(探究)の時間における地域との連携や、中学校訪問・出身中学校への学校案内配付等、広報活動に取り組む。	3.1	3.2	3.4
				基本的生活習慣の確立のため欠席・遅刻・早退の数を減らすことを目指し、規範意識及び自己管理意識を身につけるため、服装・頭髪、登下校、携帯電話、自転車のマナー指導を徹底する。	3.3	3.2	3.3
		3	生徒の内面の理解を図る指導の工夫	キャンパスカウンセラーによる研修を実施し、生徒の内面理解のための指導法の共有化を図るとともに、全教職員で組織的に取り組む。	3.0	2.9	2.9
	進路指導	4	進路指導体制の充実	①進路指導研修会を開催するとともに、職員会議での情報提供を行い、個に応じた指導の確立を目指す。	3.2	3.2	3.1
				②進路指導部の年間計画に沿って、キャリア教育充実の観点から、就職説明会、公務員説明会、医療看護系説明会、推薦入試・センター入試説明会、大学説明会等を実施する。	3.0	3.3	3.2
		5	外部講師の活用・高大連携	卒業生による講演や、大学説明会を校内で実施し、生徒の大学に対する興味関心を高める。また、高大連携に力を入れ、神戸大学・兵庫教育大学・関西学院大学・武庫川女子大学等との連携を深める。	2.9	3.2	3.3
	教職員の資質の向上	6	計画性を持った研修の実施	教育実習期間中の授業公開に加え、各教科毎の授業公開を行い、教員間の意見交換と研修の場を設定するとともに、保護者や地域に向けての公開授業を行うことを研究する。	3.1	3.0	3.1
	危機管理体制の整備	7	家庭・地域・関係機関と連携した危機管理体制の推進	①危機管理マニュアルの内容を整理し、その内容を実践できる訓練・研修を行う。	2.7	2.9	2.8
				②自然災害や新型コロナウイルス感染症等の不測の事態に備え、緊急時に対応できる体制の整備を図る。	3.0	2.8	2.7
		8	個人情報の保護	成績、家庭情報、健康、生徒指導記録などの各種個人情報の管理体制を強化し、適切に管理する。	3.0	3.3	3.2
	学校運営全般	9	専門部の運営と学年・学級の経営	学校教育目標達成に向けた各部および学年・学級の具体的方針を立て、生徒の自主性を高める指導に努力する。	3.1	3.3	3.1
		10	学校いじめ防止基本法	いじめの未然防止、早期発見・早期対応を行う。	3.2	3.4	3.1
	PTCA活動	11	PTCAとの連携	学校保健委員会、保護者会を実施し、進路指導部による入試結果等の進路情報の提供および学年からの指導方針の提示などを行う。	3.0	3.2	3.0
教 育 課 程	自ら学び自ら考える力の育成	12	生涯学習の視点に立った実践能力の育成	生徒の多様な進路希望に対応する選択科目設定の工夫と、各教科による豊かな人間関係形成力の育成など、生涯の基礎となる興味関心に応じた特色ある教育課程を編成する。	3.0	3.1	3.0
	基礎・基本の定着	13	生徒の学力の把握と評価に関する創意工夫	観点別評価の方法について研究し、評価基準を設定し、知識理解のみに偏らない評価方法の実践を図っていく。また、生徒による授業評価を推進する。	3.1	3.0	3.1
	教科「教職」の充実	14	教科「教職」のプログラムの充実と学校全体での取り組みの推進	「教職」類型設置を踏まえ、「教職体験」・「教育実践」・「教育探究」の更なる充実を図り、全教職員での取り組みを推進する。	3.1	3.2	3.1
	総合的な学習(探究)の時間	15	創意工夫を生かした実践の展開	研究テーマについての調べ学習の方法、発表における客観性の獲得などの学習を積んで、討論の仕方を身につける。	3.1	3.1	2.9
	特別活動(学校行事など)	16	学校行事の精選と行事内容の充実	学校行事を精選し、内容を充実させることで、生徒の意欲を引き出す。	3.0	3.1	3.1
		17	ボランティア活動	学校生活でのボランティア活動の推進を図り、その重要性への意識を高める。	2.5	2.4	2.5
	課題教育	18	人権意識の育成	身近な問題から人権の歴史・社会的問題等について、生徒が自ら考え自他の人権を守る態度を育て、人権HRの実施に取り組む。	3.2	3.2	3.2
		19	情報モラルの育成	人権尊重を基盤として、プライバシーの保護や著作権の尊重等の重要性、ネットワーク上での安全な行動について考えさせ、情報リテラシーの確立を図る。	3.1	3.3	2.9
		20	国際理解教育	ALTを授業で最大限活用するとともに、授業以外にも積極的に活用し、ALTを囲んで生徒との交流を図るなかで、コミュニケーション能力を育成し、異文化理解を深める。	3.1	3.1	3.2
		21	高齢者や障がいのある人などへの理解を深める指導の推進	高校生地域貢献事業において、老人ホームや特別支援学校を訪問し、交流を通して理解を深める。	2.7	3.2	3.1

令和2年度 兵庫県立夢野台高等学校 学校評価 保護者アンケート集計結果 20210118

次の各項目について、A～Dのあてはまるものを評価の欄に記入してください。

A：そう思う B：ややそう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない E：わからない

回収枚数 662枚 回収率 80.3%		※評価点は、A4点、B3点、C2点、D1点の平均点											
実施日 令和2年12月		R2年度											
番号	設問内容	評価 A		評価 B		評価 C		評価 D		評価 E		評価点	
1	お子様は、充実した学校生活を過ごしている。	356	54%	237	36%	43	7%	8	1%	18	3%	3.5	
2	お子様は、学校や友だちについて家庭でよく話をする。	285	43%	236	36%	92	14%	45	7%	4	1%	3.3	
3	学校は、HPを活用し教育方針、重点目標、行事や部活動の様子等をタイムリーに発信している。	78	12%	278	42%	157	24%	59	9%	88	13%	2.9	
4	子どもは、社会や学校のルール・マナーを守り、規則正しい生活を送っている。	377	57%	246	37%	24	4%	9	1%	5	1%	3.5	
5	保健室・キャンパスカウンセリングなど、悩み事を相談できる体制が整っている。または、親身になって相談に乗ってくれる先生がいる。	107	16%	263	40%	97	15%	20	3%	175	26%	3.1	
6	学校は、進路に関する適切な情報を適切に提供している。	167	25%	312	47%	105	16%	23	4%	55	8%	3.2	
7	学校は、個々の生徒の進路希望に応じて、きめ細かい進路指導を行っている。	125	19%	263	40%	139	21%	33	5%	102	15%	3.1	
8	学校は、生徒の学習状況の把握に努め、きめ細かい学習指導を行っている。	86	13%	270	41%	151	23%	41	6%	114	17%	3.0	
9	学校は、授業を工夫し、質の高い学習指導を行っている。	71	11%	242	37%	145	22%	47	7%	157	24%	3.0	
10	学校は、自主的な学習に取り組みやすい学習環境が整えられている。	101	15%	262	40%	129	20%	38	6%	132	20%	3.0	
11	学校は、自然災害や新型コロナウイルス感染症等の不測の事態に備え、緊急時に対応できる体制を整えている。	99	15%	235	36%	144	22%	52	8%	131	20%	3.0	
12	学校は、生徒の健康や安全に関わる指導を適切に行っている。	126	19%	301	46%	110	17%	26	4%	99	15%	3.1	
13	学校は、校内の環境美化や整理整頓に努めている。	117	35%	309	56%	83	8%	17	1%	134	1%	3.2	
14	学校は、学校行事において生徒の自主性が高められるよう工夫されている。	126	19%	300	46%	100	15%	15	2%	119	18%	3.2	
15	学校は、いじめ防止に向けた取組が積極的に行われている。	92	14%	217	33%	101	15%	21	3%	231	35%	3.1	
16	学校は、教育活動の特色を積極的に外部に向けて発信している。	67	10%	229	35%	203	31%	36	5%	126	19%	3.0	
17	学校は、部活動が活発に行われている。	279	42%	277	42%	69	10%	11	2%	25	4%	3.4	



令和2年度学校評価まとめ（2021 年 3 月）

<教職員の自己評価について>

- ・先生方が課題意識をもって取り組まれていることが成果としてあらわれている。交流関係は、今年はどうしても評価が低くなってしまうのかと思ったが、次年度に向け出来ないことではなく、工夫したことや新たに組み込んだこと等の視点から評価すればよい。
- ・先生方は制限の多い中でも十分に対応してくださっていた。それでも以前と比べてポイントが下がっている項目が多いのは「もっと色々やれることがあったはず」というもどかしい気持ちの表れかと感じた。
- ・概ね良好であると思うが環境福祉教育のポイント減少が気になる。おそらく施設訪問等がコロナ禍でできなかったことが影響していると思うが、新たな方法等を検討する必要がある。

<新型コロナウイルス関係について>

- ・今年度はとにかくコロナに振り回された一年でした。先生方にとっても初めての対応ばかりで何かと大変だったことと思いますが、いつも迅速な判断で生徒達のためにご尽力いただき感謝している。
- ・コロナ禍での 1 年は本当に大変だったと思うが、充実した学習プログラムの歩みを止めることなく、進めておられる姿勢は、見習いたい。
- ・今年度は、コロナ禍で、例年行っている交流ができなかったが、短時間でも、内容を工夫してできたことは、本当によかった。
- ・コロナ感染症対策は、それなりに、取り組んでおられるようであるが、今後、第 4 波のような感染再拡大状況が訪れ、対面授業の実施が困難となった場合には、オンライン授業を実施するなどの、対応が必要となるのではないかな。
- ・昨年度から準備を進めてこられた ICT 事業は、あと少しというところで長期休校には間に合いませんでしたが、これを機に活用の幅が広がっていくことを期待したい。

<教職類型、ひょうごスーパーハイスクール事業等について>

- ・教職類型の取組はそれなりに成果をあげており、ひょうごスーパーハイスクール（HSH）の指定を受け、教育・心理類型として展開させていく方向性は結構なことであり、大いに期待される。
- ・教職類型の目標に関して、「主体性」「人間性」「コミュニケーション能力」についてどのような効果、意義や意味が見いだされたかの振り返りや共有内容を確認できれば、次の方向性に有用ではないかな。
- ・入学後の生徒の学習状況、学力について知りたい。

<制服の刷新について>

- ・高校の選択について以前は、学校説明会の印象かと感じていたが、制服や学校設備についても材料の一つになっている。
- ・どのような制服に変わるのか、今からとても楽しみ。インターネットの高校クチコミ掲示板では「夢野台高校の制服が変わるらしい」と情報がうっすら漏れ始めているようで、中学生は「いつから変更か」と興味津々の様子である。新しい制服が発表されれば注目が集まり、夢野台高校をアピールする絶好のチャンスになるのではないかな。
- ・在校生の意見を取り入れて、春から女子生徒のリボン着用が可能になると聞いた。体育祭のブルーレイの件もそうだが、先生方が生徒達の声にきちんと耳を傾け、実現に向けて行動に移してくださる姿は生徒や保護者にとって非常に心強い。

<広報活動について>

- ・今年度の教職類型の応募倍率が 1.9 倍と高率となったのは、HSH の指定を受けて、教職類型を広く展開させようとしていることが背景にあるのではないかな。
- ・今年の入試の志願倍率は 1 倍をわずかに上回って、ここ数年続いた、低倍率傾向から、脱したように思われるが、募集定員が 1 クラス分減になっていることが関係しているようにも思われる。倍率向上のためにも、HSH の指定や、教育・心理類型のことを広く、アピールすることが重要である。
- ・HSH の指定を受けていることや、教育・心理類型に関して、高校の HP 等でもっとアピールすることが必要ではないかな。